

## レガシーチャレンジ

～算数問題にチャレンジして、算数・オリンピック博士になろう～

校種・学年		小学校・全学年			教科等	算数
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	通年
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	レガシーチャレンジ問題

## 1 プログラムのねらい

- オリンピックやパラリンピック、ラグビーワールドカップに関する算数問題に挑戦することを通して、オリンピック等に関する知識・理解を図る。
- オリンピック等の競技に関しても算数で学習したことを生かすことができることを知り、算数への関心を高めるとともに、日常生活に算数を生かそうとする。

## 2 プログラムと既存の学習との関わり

- 本校は、算数を苦手としている児童が多い。オリンピック等の情報を基にしたレガシーチャレンジ（レガチャレ）に取り組むことにより、スポーツの場面を始めとして様々な場面で算数の学習を生かすことができることに気付き、主体的に学びを生かす力を育む。また、レガチャレをとおして、オリンピック等への関心を高めていく。

## 3 指導計画（通年）

時間	主な学習活動・内容等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中に単元のまとめ・確認として取り組む。</li> <li>○業前活動や宿題で、復習や活用問題として取り組む。</li> </ul>

## 4 本時の学習指導

時間	学習活動	支援・留意点等									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中に単元のまとめ・確認として取り組む。 〔例〕4年算数「がい数とその計算」 問題（一部抜粋）</li> </ul> <p>下の表は、オリンピックの参加選手数です。大会ごとの参加選手数を上から2けたのがい数で表しましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>参加選手数</th> <th>上から2けたのがい数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロサンゼルスオリンピック</td> <td>6829人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リオデジャネイロオリンピック</td> <td>10568人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	大会名	参加選手数	上から2けたのがい数	ロサンゼルスオリンピック	6829人		リオデジャネイロオリンピック	10568人		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の定着を図ることができるように、確実な見届けを行う。</li> <li>○各学年の学習進捗状況に応じて、取り組む時間帯を工夫する。</li> </ul>
大会名	参加選手数	上から2けたのがい数									
ロサンゼルスオリンピック	6829人										
リオデジャネイロオリンピック	10568人										

## 5 おすすめのポイント（さらに、効果アップ!）

- レガチャレの問題数を増やし、レベル別に学習シートを準備することができると、児童の実態に応じて挑戦することができる。
- 基準を決めて、賞を設定することにより、さらに意欲が高まる。